

海軍の思い出

白井 正時

私は、昭和 15 (1940) 年 6 月 1 日、18 歳のときに志願して、横須賀海兵団に入隊しました。航海学校で 1 年間、手旗信号などの訓練を受け、その後、防備隊に配属されました。

隊の任務は、海上警備と連絡で、曳船により、伊豆大島の岡田港、元町港、波浮港などで、ブイに付ける標識の設置や防備網を張る業務などに 2 年間、従事しました。防備網の先には、別の隊の者が機雷を付けます。横須賀等との連絡には伝書鳩も使いました。

昭和 16 年 12 月 8 日、20 歳の時、真珠湾攻撃、米国との開戦となりました。

昭和 18 年に入って、21 歳のときに、名古屋に移り、三重県の伊勢湾で、九三式機雷の処理業務につきました。掃海艇が機雷についた古くなったワイヤーを切り、私たちが船からボートを降ろして、ボートから機雷を引き寄せて電線を付け、海中で爆破しました。その衝撃はもの凄いものでした。

その後、横須賀に戻り、横須賀指揮隊のもとに、横須賀から木更津間の東京湾に機雷を敷設する演習に参加しました。機雷学校の生徒を船に乗せ、生徒たちが網を落として機雷を敷設し、私たちがその網にブイと標識を付けました。

昭和 18 年 6 月 30 日、10 隻の輸送船団で、千葉県館山からパプアニューギニア、ニューブリテン島のラバウルに向かいました。私が乗ったのは「山国丸」という 1 万トン級の輸送船です。途中、トラック島に 3 日間、寄港し、米軍の攻撃を受けないよう、夜間に砲弾や食料の積み下ろしをしました。

九三式機雷（きゅうさんしききらい）

水上艦艇から敷設する対水上艦艇および対潜水艦用機雷。深々度（しんしんど）及び深海敷設用の一般用機雷として昭和 9（1934）年に採用された。

掃海艇（そうかいてい）

機雷の除去を任務とする軍艦。

ラバウルでは、一時、陸軍の陸戦隊に回され、その後、私たち八十一警備隊は、前線に食料などを輸送する任務を担いましたが、戦況が悪化してくると、米軍機の爆撃や魚雷の攻撃などを避け、山に逃げ込みました。日本からの物資の輸送も困難となり、食料が欠乏したため、タロイモをつくり、葉もゆでて食べました。陸稻^{りくとう}もわずかながらつくりました。また、ヤシの実を取るために木を伐り倒し、ヤシ酒をつくったりもしました。

その後、ラバウルからパラオに輸送船で向かうこととなり、その途中、午後8時15分に当直を終えたとき、突如、海上に米軍の照明弾が上がりました。私たちの輸送船は、砲撃を避けるため、逃げましたが、激しい砲撃を受けたため、「総員退避」の命令が出され、遂に船をあきらめて、乗員約30人は海に飛び込みました。私は航海学校時代、遠泳が得意だったので、真っ暗な夜の海の中でも、潮に流されることなく、なんとか泳ぐことができました。しかし、軍服もすべて脱げてしまい、ふんどし一丁でした。翌朝、もう1名の仲間とともに小さな島に泳ぎ着きました。サンゴ礁^{しょう}の浜で足の裏が傷だらけになりながら上陸し、ヤシの木の下に倒れ込んで寝ていると、現地の人々がヤシの実やバナナを置いていってくれたのは、本当にありがたかったです。米軍の駆逐艦^{くちくかん}が島の近くまで来ていたので、2日間くらい、山奥に入り隠れていましたが、その後、第二基地隊と合流することができ、結局、船でラバウルに戻るようになりました。

昭和20(1945)年8月、23歳のとき、終戦を迎え、アメリカの復員輸送船「リバティ」に乗り、約2,000人の日本兵とともに、ラバウルから名古屋に帰ってきました。当時、浦賀で伝染病が流行っていたと無電で情報を得たため、その近くを航行することを避けて、名古屋に行ったようです。

復員輸送船（ふくいんゆそうせん）「リバティ」

第二次世界大戦終結後、海外に残された日本人を本土に帰還させるため使用された艦船は、海軍に所属していた艦艇のうち航行可能なもののほか、アメリカ海軍から供与されたリバティ船等も動員された。リバティ船（liberty ship）は、大戦中にアメリカで大量に建造された規格型輸送船の総称。

駆逐艦（くちくかん）

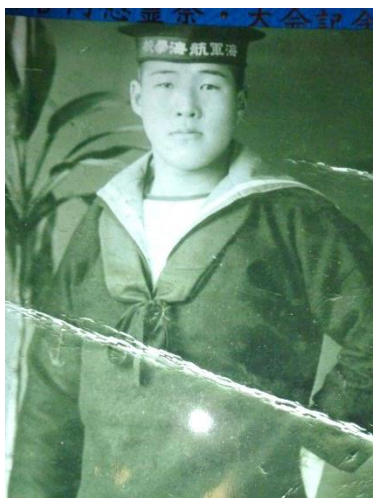
小型で速力が速く、魚雷攻撃や奇襲・警戒・護衛を任務とする軍艦。

上陸してから3日程、港付近のテントに足止めされ、その後、汽車に乗り、美唄に復員を果たしたのは、昭和21（1946）年5月、24歳の時でした。

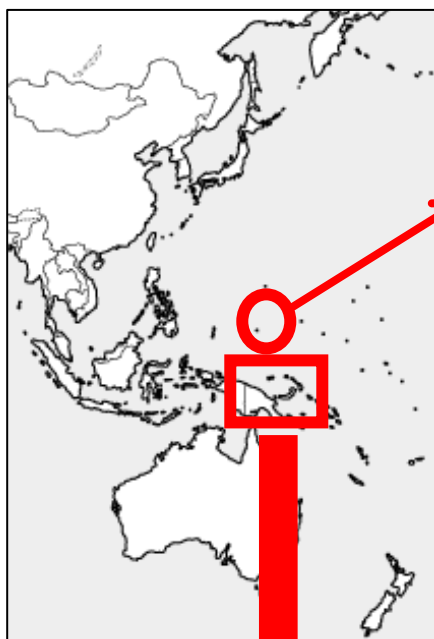
細かいことは、なかなか思い出せませんが、約7年にわたる海軍での生活を通じて、一番つらく苦しかったのは、食料がなかったラバウルでの2年間でした。

この戦争で多くの仲間を失い、二度と戦争はしてはいけなと、今も強く感じています。

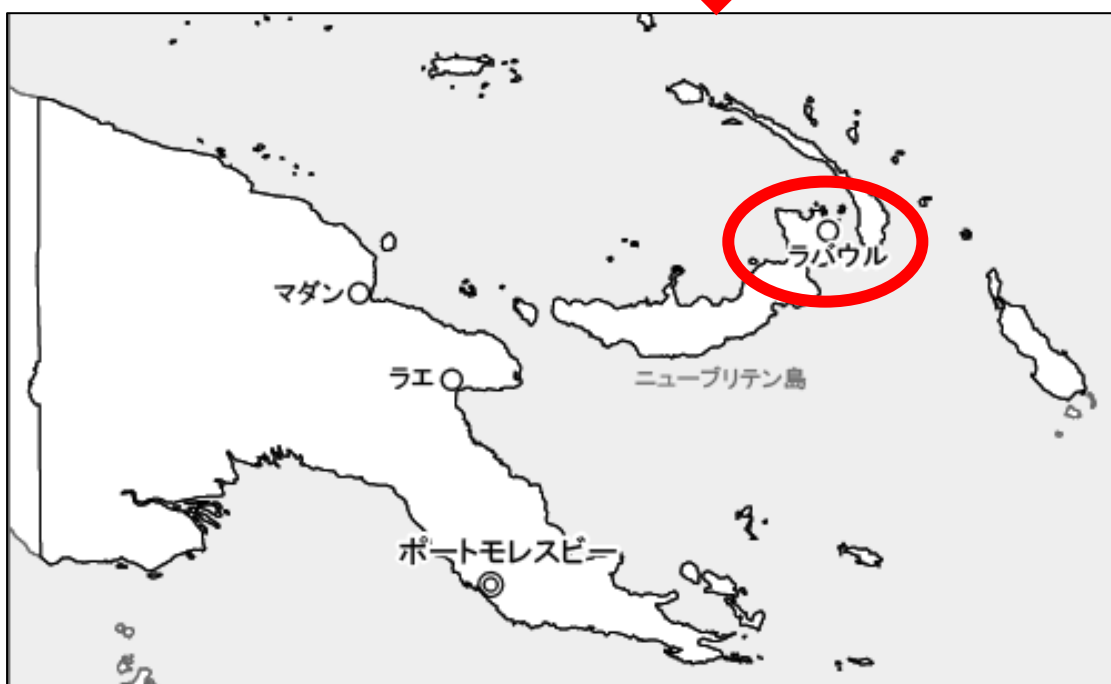
（しらい まさとき 大正12（1923）年 美唄生まれ）



昭和15年横須賀海兵団に入隊した時の白井さん
（白井正時さん提供）



トラック島
（チョーク諸島）





【参考】大日本帝国海軍帽子